

2023年3月1日

一般財団法人セガサミー文化芸術財団

セガサミー文化芸術財団 理事の唐津絵理が

令和4年度芸術選奨文部科学大臣賞 芸術振興部門 大臣賞を受賞

一般財団法人セガサミー文化芸術財団(本社:神奈川県横浜市、代表理事:里見治紀)の理事で、同財団が運営する「Dance Base Yokohama(ダンスベースヨコハマ)」(通称 DaBY/デイビー)のアーティストティックディレクターを務める唐津絵理が、令和4年度芸術選奨文部科学大臣賞の芸術振興部門にて大臣賞を受賞いたしました。芸術選奨は文化庁が毎年度、芸術各分野において優れた業績を挙げた方、又は新生面を開いた方を選奨するもので、各部門において大臣賞、新人賞が贈られます。

【贈賞理由】

唐津絵理氏は、公共劇場でプロデューサーとして活動を行い、さらに令和二年に民間支援による新しいダンスハウス「Dance Base Yokohama」の立ち上げに参画、これらの連携の成果として令和四年は「愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2022」の全国ツアーを行い、ダンスの多様性を示し高く評価された。氏は、アーティストの自立的な活動を支援し、可能性を引き出すために、安全安心な制作環境を整えようと活動を始めた。また創客の視点から、舞台芸術の批評眼を持った新たな観客を生み出すことにも力を入れてきた。これらの活動は芸術振興の意味や方法を改めて問い直す契機ともなった。ダンスに止まらない芸術の創造と振興・支援施策のあり方両面に影響を与える重要な取り組みを牽引してきた存在である。

<唐津絵理 プロフィール>



©Takayuki Abe

愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー
DaBY アーティストティックディレクター
一般財団法人セガサミー文化芸術財団 理事

お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2000年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒ芸術賞受賞。14年より現職。10年～16年あいちトリエンナーレのキュレーター(パフォーミング・アーツ)。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、企業の芸術文化財団審査委員、理事等の各種委員、ダンスコンクールの審査員、第65回舞踊学会大会実行委員長、大学非常勤講師等を歴任。講演会、執筆、アドバイザー等、『日本の舞台体の知性』等。

<一般財団法人セガサミー文化芸術財団 概要>

名称 : 一般財団法人セガサミー文化芸術財団
住所 : 神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE BRICK North 3階
設立 : 2019年3月1日
理事長 : 里見治紀(セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役社長グループCEO)
目的 : 芸術・文化活動に対する支援を通じて、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献する
公式サイト : <https://www.segasammy.or.jp/>

<Dance Base Yokohama (DaBY) 概要>

名称 : Dance Base Yokohama(ダンスベースヨコハマ)
住所 : 神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE BRICK North 3階
オープン日 : 2020年6月25日
公式サイト : <https://dancebase.yokohama/>